



赤麻小だより

第35号

平成24年11月2日

発行所：栃木市立赤麻小学校校長室

食物は体の糧、読書は心の糧！！

本を読み、楽しい世界を広げるために・・・

本校の子どもたちは皆、読書が大好きです。「朝の読書」では、毎朝、授業が始まる前の時間に10分程度本を読んでいます。これによって、「読書の習慣がついた」「主体的に本を読めるようになった」「集中力がつき、落ち着いて生活できるようになった」等の成果があがっています。

また、図書室では、進んで図書室に訪れ、図書室の本も読んでくれるように、図書事務さんの工夫で、季節にあった様々な掲示物が児童を迎えてくれています。おかげで、図書室の貸し出し状況からも、本をたくさん読む習慣のついていることがよくわかります。これからも、本に親しみ、楽しい世界を広げ、心豊かな生活を過ごせるように、励ましていきたいと考えています。



本校では、10月22日（月）から26日（金）までを、「校内読書週間」とし、読書の興味を喚起させるため、本に関する様々な行事を行いましたので、紹介いたします。

☆読書感想画・読書感想文・標語



☆お薦めの本コーナー

☆おはなし会の開催



「オズの魔法使い」（図書委員児童）

「にじのきつね」（コロポックルさん）

なお、本校では、読み聞かせボランティアの会「そよかぜ」の皆様にも、本の読み聞かせを行っていただいております。16日（火）も読み聞かせをしていただきました。子どもたちは毎回、「どんなお話が聞けるかな」と楽しみにしています。

これからも、子どもたちの心の糧になるすばらしいお話をお聞かせください。

大盛況だったPTAバザー

14日(日)はPTA主催のバザーが行われました。天気に恵まれたたくさんの地域の方に来ていただき、大盛況のうちに実施することができました。たくさんの品物を提供してくださった地域の皆様、前日の準備・当日の販売に協力してくださった役員の皆様大変お世話になりました。

また、本部役員さん学年委員さんが開いてくださった模擬店も、たくさんの子どもたちでにぎわいました。大きなわたあめをうれしそうに食べる子どもたちの様子がとてもほほえましかったです。限られた時間でしたが、地域の方にとっても、子どもたちにとっても楽しい時間になったと思います。かかわってくださったたくさんの皆さんに感謝いたします。

バザーでの収益金は、芸術鑑賞の費用や子どもたちの学習のために大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

バザー収益金

170,211円



昔の道具を使っていた頃の暮らしの様子を体験

19日(金)は、4年生が学校支援ボランティアさんや祖父母の皆さんの協力を得て、釜でご飯を炊いたり、七輪でおもちを焼いたりしてそれらを使っていた頃の生活を体験しました。子どもたちは、まきに火をつけるのが大変でしたが、学校支援員ボランティアの皆さんや祖父母の皆さんは、慣れた手つきで火をおこしていました。「久しぶりに釜でご飯を炊くので、うまく炊けるか心配だ。」などと話していましたが、その炊きあがりのすばらしさにはびっくり。今まで食べたご飯の中で、一番おいしいご飯が炊きあがりました。さすがです。



子どもたちは七輪で焼いたお餅を食べたり、釜で炊いたご飯をおむすびにし、つけものとおみそしるでお昼を食べたりしました。体育館中に子どもたちの笑顔があふれた昼食会になりました。なかなか体験できない貴重な体験ができたと思います。細かい準備をしてくださった先生方、お手伝いしてくださった学校支援ボランティアの皆様、祖父母の皆様ありがとうございました。

本校における放射線量です・・・10月18日(木) 0.086 μ Sv/h
10月25日(木) 0.077 μ Sv/h